

交渉結果報告書

市長公室人事課

交渉内容 2017賃金確定要求書の回答等について
交渉日時 平成30年2月2日(金) 14時00分～16時00分
交渉場所 宇治市役所本庁 8階大会議室
交渉出席者 当局側 宇野副市長 中上市長公室長 福井市長公室副部長 波戸瀬人事課長
岡部人事課副課長 岡野同課人事研修係長 西川同課給与係長
組合側 小野執行委員長 副執行委員長 書記長 書記次長他執行委員等 計12人

概要	要
組合の主張	2017賃金確定に係る要求書の回答等を行った。 ① ー ② 昇給抑制の対象は、民間より初任給水準が低い状況を踏まえると、採用から間もない若手層は除くべきではないか。 ③ 旅費の日当については、この間の特殊勤務手当の見直し際の経過等を踏まえて改めて議論が必要である。 ④ ファミリーサポート休暇の用途拡大を求めているがどのような検討状況か。 ⑤ 奨学金の返済で生活が苦しい職員がいる。また、40代は子の学費等で生活が苦しい状況である。これらの層について、何らかの手立てができないか。
当局の主張	① これまでの交渉経過を踏まえて、以下の点について修正することとする。 昇給抑制については、ペースを早めて、2年間で最大6号の抑制を行うこととする。 級別職務の見直しについては、現行5級のみ位置付けている係長を、4級にも位置付けることとしたい。 ② 心苦しいところであるが、全職員で見直しによる削減をお願いしたいと考えており、対象の見直しは困難である。 ③ 特殊勤務手当については、この間の廃止や引き下げの経過は理解している。 ④ 具体的な回答はできる状況にないが、年度内には一定の方向性を示したいと考えている。 ⑤ 何かできるのかについて、引き続き検討したい。